

(2021年3月18日付朝刊)

# 京都新聞に掲載されました

<インタビュー記事>

佐々木康綱（腫瘍内科 部長 兼 外来治療センター 所長）・小畑未央（がん相談センター）

広告

洛和会音羽病院 腫瘍内科インタビュー

さまざまながん治療の司令塔「腫瘍内科」

「慢性疾患として「がん」とうまく付き合うために」

医療技術の進歩による生存率の向上で、がんは死に至る病ではなく、長く付き合う慢性疾患になりつつあります。がん治療の現在と、地域でがんを診るときに総合病院が果たす役割についてお話を伺いました。



佐々木 康綱 (ささき やすつな) 氏  
洛和会音羽病院 腫瘍内科 部長  
国立がんセンター中央病院、米国 Maryland州立大がんセンター客員研究員、国立がんセンター東病院化学療法科医長、埼玉医科大学腫瘍内科教授、昭和大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門教授を経て、2020年から現職。



小畑 未央 (おはた みお) 氏  
洛和会音羽病院 医療ソーシャルワーカー / がん相談センター 相談員  
2007年洛和会音羽病院医療ソーシャルワーカーとして入職。2013年専従医療ソーシャルワーカー、緩和ケアチーム医療ソーシャルワーカーを兼務。

進歩するがん療法を  
駆使し、横断的に診る

「がんを慢性疾患としてとらえたとき、従来の治療にはどんな課題がありましたか。」

佐々木 早期発見や手術療法、放射線療法、薬物療法の進歩によって、一部のがんは治る病気になってきました。例えば乳がんでは、再発しても、10年以上生存する人も珍しくありません。同時に、患者さんの高齢化が進み、基礎疾患がある人の割合も増えています。

これまで、日本におけるがん治療は、乳がんなら乳腺外科、消化器がんなら消化器外科というように臓器ごとの縦断の診療体制で、手術を担当する外科医がそのまま薬物療法を行ってきました。ところが薬物療法が目覚しく進歩し、分子標的療法や免疫療法も導入され、内科的療法が多彩になりました。これに加えて緩和ケア医、放射線治療医などと協力する必要があります。このように、複雑化するがん治療に対して縦断型の臓器別診療では担いきれなくなってきました。一方、がん専門病院においても、がん以外の疾病を診られる医師が少な、重篤な合併症をもつ患者さんの治療が難しい場合があります。

「そこで腫瘍内科が果たす役割とは。」  
佐々木 日本ではまだ耳慣れない腫瘍内科ですが、欧米諸国ではがん薬物療法をすべて担当する診療科です。胃がん、肺がん、乳がんをはじめ、あらゆる固形がんに対応します。

「近年はがんの遺伝子解析によって、原発薬にかかわらず有効性が期待できる薬剤を投与できるようにもなっています。手術適応でない場合や、術後の治療にも強みを発揮します。」

手術療法や放射線療法、薬物療法を含め、より効果的で安全な治療を組み合わせた治療を考えます。さらにかんに伴う苦痛の改善や、患者さんの精神的な悩みを解消すべく、緩和ケア医やがん専門の医療ソーシャルワーカーとも協力します。つまり腫瘍内科とは、メンタルケアまで含めた、すべてのがんの横断的な治療コンダクターといえます。

地域の総合病院が担う、  
これからのがん治療

「腫瘍内科が総合病院に設置される意義とは。」  
佐々木 腫瘍内科の診療体制は、地域に根ざした総合病院において強みを発揮します。退院後も、特に高齢の方には、地元のかかりつけ医の受診に安心感があり、通院や家族の面会も容易です。かかりつけ医とのきめ細やかな情報交換により、抗がん剤治療における副作用の説明や基礎疾患のある方への使用についての確認、またその対処が可能です。幅広い診療科がそろった地元の総合病院だからこそ小回りが利き、検査なども長時間待たなくて済むため、遠方のがん専門病院への通院に比べて患者さんの身体的・精神的負担が軽減されます。もちろん緊急時でも、速やかに救急での受け入れが可能です。

「今後のがんの総合診療体制についてお聞かせください。」  
小畑 がんは長く付き合うため、トータルな無料相談窓口として他院を受診されている方やご家族からの相談も受け付けています。悩みや気持ち話を話し合える、がん患者家族の云も開催し、患者さんだけでなくご家族にも不安を解消していただき、住み慣れた地域で生活を維持していくためのサポートを行っています。

佐々木 腫瘍内科を核に、他の診療科目との連携体制で総合的な治療を行い、長期的にもがん治療をスムーズに進められるようになります。がんを診断された方への、セカンドオピニオンにも対応します。一人で悩んだりせずに、早い段階で腫瘍内科への相談をおすすめします。

集めたながん治療を  
洛和会音羽病院



京都府がん診療推進病院として  
早期発見から、  
治療、緩和ケアまで対応し、  
トータルケアを提供しています。

お問い合わせ先  
〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2  
TEL.075(593)4111(代)  
洛和会音羽病院 検索  
http://www.rakuwa.or.jp/otowa